

第一三章 災害と復旧・改修

災害には、風水害・干害・地震・冷害等があり、明治期から現在までの香川県や長尾町での災害については、多度津測候所の記録や役場文書、高松地方気象台の記録等に基づく次のようである。以前と比較して注目すべき点は、ため池の改修や河川改修があり、また前山ダムや香川用水の導入もあつて干害・洪水が減ったこと、さらに医業・農業の進歩によつて疫病、稲の病虫害が減つたことなどが挙げられるが、暴風雨・地震等は避けられない。しかし、土木・建築技術の進歩により、その被害は減少しつつある。本章では顕著な事実について具体的に述べ、その他については一覧表にした。そして災害の発生時における「動脈」ともいえる鴨部川改修についての概要を付記した。

一 災 害

明治十九年 明治十九年九月二〇日午後四時ごろから、南東の強風が起こつてしだいにその勢力を増し、九時の暴風雨には豪雨を伴い、風位東方に転じて暴風雨になり、夜一二時最も激しく、翌二一日午前二時に風速急に減じて強雨のみとなつたが、四時ごろ強風が再起、五時頃やんだ。この暴風雨で長尾地方の建物・水稲への被害は甚大であつた。

明治二十七年 同年四月二十六日に小雨あり、七・八月には三三ミリの降雨（長尾の観測）があっただけで、九月一日の大雨はつ
 ○日までの一三五日間雨らしい雨はなかった。このため用水は枯渇して飲料水にも事欠き、各所に井戸が掘られたが追いつかず、末期の水といって土瓶で注水したが、収穫皆無の田が多く、百年来の大雨ばつといわれた。

明治三二年 八月二八日に猛烈な台風の襲来があり、中心が愛媛県東部を通過したので、多度津測候所では瞬間最大風速五二メートルを記録した。県下の被害状況は死傷者一、三〇四人、家屋の倒半壊一四、三二〇戸、造田では建物の破壊及び浸水一七三戸、年季荒れとなった田四四ヘクタール、立毛損害一九〇ヘクタール、鴨部川の本流・支流の堤防決壊ならびに欠損六四六メートル、用水路の破壊五〇カ所に及んだ。長尾地区では死者二人、家畜の死二八、建物流出崩壊二八戸、同破損浸水三九戸、耕地流出五〇アール、年季荒れ田一・四ヘクタール、立毛損害一三ヘクタール、堤防決壊三七カ所四九八メートル、同欠損八五〇メートル、道路破損六六六メートル、橋梁の流出八カ所という甚大な被害を受けた。

明治四〇年 二月一〇日の朝から降りはじめた雪は夜に入って猛吹雪となり、翌一日には長尾で積雪四五センチ、多和で一メートルにも達し、歩行不能から紀元節の式に参加した者は少なく、長尾小学校では用意したまんじゅうを余分にくれたという。

大正元年 八月二三日から同二四日にかけて台風の中心が東讃を通ったため、造田地区では家屋全壊五、半壊の洪水
 一、浸水田一七ヘクタールの被害をうけた（他の地区は不明）。その後一ヵ月後にまたまた台風による大洪水があった。すなわち九月二〇日豪雨、同二一日強風を伴う大豪雨、同二二日豪雨と、連続四〇余時間

のどしゃ降り、雨量は平地で三〇〇ミリ以上に達し、川・池の堤防は決壊し、とうとうとした濁流水が田畑・家屋に浸水した。

長尾では石神池の「ゆてめ」が壊れて下の民家が流され、鴨部川がはらんして、前山牛石で五戸、辛立・塚原北側で数戸の家屋が流され、切の川・筒井川・清水川の橋は全部墜落した。造田でも乙井橋が墜落し広瀬橋が流失し、是弘・乙井間で堤防の決壊・欠損六五メートル、家屋の倒壊八〇、水田流失一〇ヘクタール、同冠水九六ヘクタール、畑の流失一ヘクタール、田畑の流失埋没八ヘクタールで、明治三二年以来の大被害を受けた。長尾の町筋では浸水家屋は少なかったが、造田では低地のため床上まで浸水し二階へ避難したという。

昭和六年 昭和六年二月九日午後二時ごろから降り出した雪は、夜になって激しく、翌一〇日午前七時にやむ。阿讃山岳部で三〇〇四七センチ、平地で平均二三センチ、屋上二七センチであり、この被害も甚大であった。

昭和九年の干ばつ 同九年五月一三日から六〇日間降雨なく、また、七月一三日の雨以後四八日間雨がなく、室戸台風 一〇八日間の日照りであった。九月六日の発表によると、県下で田畑三万二四八八ヘクタールの農産物被害二五八万円。八月二九日には県知事の要請により、善通寺一師団の山砲隊が五門の山砲で三〇〇発の実弾射撃して降雨を期待したが、効果はなく、翌三〇日から三日間かがり火を焚いて雨乞い祈願するよう通達した。同年九月二一日、室戸台風来襲、県下で、死者九、行方不明八、家屋全壊二一〇、同浸水二五四四、非住家屋全壊七二八等の大被害になった。

昭和十四年 前年の一月より降雨少なく、この年五・六月に少雨、稲の植え付けを一部延期したが、七・八
大干ばつ 月に各一回少雨があっただけで、明治二七年以来の大干ばつとなった。旧長尾町での被害状況は
作付面積四五〇ヘクタールに対し、植え付け不能田一四ヘクタール、収益皆無六八ヘクタール、七割以上減収

九・五ヘクタール、五割以上減収九〇ヘクタール、三割から五割の減収四五ヘクタール、三割未満減収五二ヘク
タール、一割未満減収八〇ヘクタールで、他に桑・果樹の被害もこれに準じた。

なお、同年の降雨量は、六月が八六・六ミリ(平年一三七・三ミリ)、七月は五・五ミリ(平年一六四・一ミリ)、
八月は一五・八ミリ(平年八四・〇ミリ)であった。

昭和二十一年 昭和二十二年二月二一日午前四時一九分に大地震(マグニチュード8.1)があり、これに津波が伴い、香川
の南海地震 県では大川郡東部で被害が大きかった(県下の死者五二人、けが人二七三人、家屋全半壊三千余戸)。

また、海岸部に比べ山野部は割合に損害が軽かった。なお、震源地は潮岬の東方四〇キロの地点であった。

昭和二十八年 同二十八年九月二五・二六日の台風一三号の暴風雨で、鴨部川の水があふれ、造田地区の水田を冠
の台風 水して大きな被害をだした(鴨部川流域の被害額一五億六千万円)。

昭和三十六年 同三十六年九月一五・一六日台風一八号が来襲。第二室戸台風といわれ、風速四〇メートルの強風
の台風 雨があり、大川郡では特に東部地区の被害甚大で、自衛隊が出動した。長尾の降雨量は二九五ミ

リを記録している。

昭和四三年 同四三年二月一五日大雪、これは前日台風なみの暴風「台湾坊主」の影響によるもので、終日大
の大雪 雪となり、山間部では一メートルの積雪になった。特に高松では商店街のアーケードが倒れ、多

くの被害を出した。

昭和五一年 同五一年台風一七号の影響で、九月八日から同月一三日まで断続的に多量の降雨があった。長尾
の水害 町では水防態勢を強化して活動したが、諸所で堤防が損傷し、池・橋・道路などに大きな被害が

あった。なお、降雨については、前山ダム観測所の記録によると次のとおりであった。

前山ダム	一六〇・〇	二三〇・〇	二四六・〇	七三九・〇
月日等	九月一〇日	九月一二日	九月一二日	総降雨量

(単位mm)

明治三年以後の特記すべき災害と、同五年七月多度津測候所が設置されて以来の災害記録と高松地方気象台
で調査した資料によると、次のような災害があり、台風による暴風雨、あるいは干害が、いかにひんぱんに起き
ているかがわかる。

明3	夏干ばつ	17	八月一七日暴風雨	23	九月一六日大暴風雨	29	八月三〇日暴風雨
6	春から雨なし	18	九月一七日	24	一〇月二八日濃尾大地震	30	八月干ばつ 東讀ひどし
9	夏干ばつ数一〇日雨なし	19	一月三二日~二月二日大雪	26	二月二七日大雪一三cm	31	九月二九日暴風雨
12	六月梅檀川はんらん	22	六月一八日~八月二七日	27	六月~八月雨なし被害大	33	五月~一〇月病虫害
13	七月二五日~九月一六日雨なし	28	九月一〇日暴風雨	28	六月二〇日関東大地震		八月二五日暴風雨
15	七月三日~九月一日雨なし	29	九月一・二日暴風雨	29	夏 四〇日間雨なし		一二月一三日強風多度
16	七月二一日~九月一七日雨なし		石田尋常小学校校舍倒壊		夏 コレラ流行		津29m
			七月三日~九月一日干ばつ				八月一九日暴風雨
			九月一六日大暴風雨				九月二七日大川郡ひどし
							一二月七~一〇日強風

41	40	39	38	37	36	35	34	33
七月三日大雨 八月二四・五日台風一七号	八月八日台風六号	九月二六日 一五号	八月一日 一一号	八月二日 一二号	八月二九日 一六号	六月大雨	九月一五・六日 台風一八号(第二室戸台風)	九月二五・二七日大雨 夏 干ばつ
九月一〇日台風二三号 九月一三・一七日大雨 台風二四号	八月二九日異常乾燥 (長尾町山林火災)	三月一六日大雪	五月長雨	一月寒波強風大雪	夏 干ばつ	九月二五・二七日大雨 夏 干ばつ	九月二六日 一五号	七月三日大雨
47	46	45	44	43	42	41	40	39
七月一日雷雨 七月三・四日台風九号	四月一・三日凍霜害	二月九・一〇日大雪	八月二九・三〇日 二三号	八月二・三日 一九号	八月二・三日 一九号	八月二・三日 一九号	八月二・三日 一九号	八月二・三日 一九号
七月一日雷雨 七月三・四日台風九号	四月一・三日凍霜害	二月九・一〇日大雪	八月二九・三〇日 二三号	八月二・三日 一九号	八月二・三日 一九号	八月二・三日 一九号	八月二・三日 一九号	八月二・三日 一九号
55	54	53	52	51	50	49	48	47
五月二日凍霜害	一月一八・九日 二〇号	九月二八日 一〇月一日	五月二六日雷雨降ひょう	九月二八日 一〇月一日	九月二八日 一〇月一日	九月二八日 一〇月一日	九月二八日 一〇月一日	九月二八日 一〇月一日
五月二日凍霜害	一月一八・九日 二〇号	九月二八日 一〇月一日	五月二六日雷雨降ひょう	九月二八日 一〇月一日	九月二八日 一〇月一日	九月二八日 一〇月一日	九月二八日 一〇月一日	九月二八日 一〇月一日
59	58	57	56	55	54	53	52	51
七月二三日雷雨	九月一〇・一一日台風一三号	九月一〇・一一日台風一三号	九月一〇・一一日台風一三号	九月一〇・一一日台風一三号	九月一〇・一一日台風一三号	九月一〇・一一日台風一三号	九月一〇・一一日台風一三号	九月一〇・一一日台風一三号
七月二三日雷雨	九月一〇・一一日台風一三号	九月一〇・一一日台風一三号	九月一〇・一一日台風一三号	九月一〇・一一日台風一三号	九月一〇・一一日台風一三号	九月一〇・一一日台風一三号	九月一〇・一一日台風一三号	九月一〇・一一日台風一三号

5	4	3	45	44	43	42	40	39	36	35	34
三月二三日 〃	〃	〃	三月一七日大雪	八月四・五日 〃 洪水 鴨部川決壊	八月二九日 〃 被害大	八月二九日 〃 被害大	八月二九日 〃 被害大	八月二九日 〃 被害大	八月二九日 〃 被害大	八月二九日 〃 被害大	八月二九日 〃 被害大
三月二三日 〃	〃	〃	三月一七日大雪	八月四・五日 〃 洪水 鴨部川決壊	八月二九日 〃 被害大	八月二九日 〃 被害大	八月二九日 〃 被害大	八月二九日 〃 被害大	八月二九日 〃 被害大	八月二九日 〃 被害大	八月二九日 〃 被害大
4	3	昭2	14	13	12	9	8	7	6	5	4
八月二一日大雨	八月二・三日暴風雨	一〇月一〇・一一日 〃	七月一・二日 〃	八月八日 〃	八月二九・三〇日 〃	九月一四 〃	六月六日地震(弱)	八月一六・七日暴風雨	九月一四日豪雨	七月二四・五日暴風雨	八月二〇・二一日大雨
八月二一日大雨	八月二・三日暴風雨	一〇月一〇・一一日 〃	七月一・二日 〃	八月八日 〃	八月二九・三〇日 〃	九月一四 〃	六月六日地震(弱)	八月一六・七日暴風雨	九月一四日豪雨	七月二四・五日暴風雨	八月二〇・二一日大雨
22	21	20	17	16	13	12	11	10	9	8	7
一〇月一六・七日 〃	東讃豪雨津田一八四ミリ	一〇月一三日暴風雨	一〇月一八・九日 〃	九月二二日(室戸台風)	八月二八日暴風雨高潮	九月二二・四日 〃	一月一六・七日四〇年来厳寒	九月一一日 〃 三日大雨	東讃二〇〇ミリ	九月一一日暴風雨	九月五日 〃
一〇月一六・七日 〃	東讃豪雨津田一八四ミリ	一〇月一三日暴風雨	一〇月一八・九日 〃	九月二二日(室戸台風)	八月二八日暴風雨高潮	九月二二・四日 〃	一月一六・七日四〇年来厳寒	九月一一日 〃 三日大雨	東讃二〇〇ミリ	九月一一日暴風雨	九月五日 〃
28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17
一〇月四・六日リビ台風	六月一八日デラ台風	七月二八日ヘスター台風洪水	七月二七日(ヘンリー)台風	九月三・四日ジェーン台風被害大	九月一三日キジア台風	二月二日昭六以来の大雪	七月一・二日ケイト台風	一〇月一四・五日ルース台風長尾電柱倒る	六月三・四日タイナ台風	六月七日ジュディ台風	七月一八・二一日大雨
一〇月四・六日リビ台風	六月一八日デラ台風	七月二八日ヘスター台風洪水	七月二七日(ヘンリー)台風	九月三・四日ジェーン台風被害大	九月一三日キジア台風	二月二日昭六以来の大雪	七月一・二日ケイト台風	一〇月一四・五日ルース台風長尾電柱倒る	六月三・四日タイナ台風	六月七日ジュディ台風	七月一八・二一日大雨
31	30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20
九月二六日 〃 一五号	八月一六・七日台風九号	九月二六日 〃 一五号	九月二六日 〃 一五号	九月二六日 〃 一五号	九月二六日 〃 一五号	九月二六日 〃 一五号	九月二六日 〃 一五号	九月二六日 〃 一五号	九月二六日 〃 一五号	九月二六日 〃 一五号	九月二六日 〃 一五号
九月二六日 〃 一五号	八月一六・七日台風九号	九月二六日 〃 一五号	九月二六日 〃 一五号	九月二六日 〃 一五号	九月二六日 〃 一五号	九月二六日 〃 一五号	九月二六日 〃 一五号	九月二六日 〃 一五号	九月二六日 〃 一五号	九月二六日 〃 一五号	九月二六日 〃 一五号